

えー！箕面の滝が“人工滝”？



750億円も赤字つくって、大阪名所も危機に

滝も暮らしも枯らしても 良・公明・民主 府政

「衝撃の真相。箕面の滝は人工滝だった」毎日放送の特集は、府民に大きな衝撃を与えました。

原因は、箕面の緑深い山を切り開く巨大開発のためのトンネル工事でした。

工事が出た“湧き水”は、毎分7・4トン。これが川も滝も枯らし、自然を大きく傷つけていたのです。

大阪府道路公社は、なんと、年間3千万円の電気代をかけて、その湧き水をポンプでくみ上げ、川に返していたのです。

その巨大開発とは、“水と緑の健康都市”。大阪府は2千億円以上かけて巨大なニュータウン建設を、自民、公明、民主の賛成で推進。しかし、地価の下落で計画は大破綻。住宅が完売しても750億円の赤字覚悟で強行してきたのです。府の財政をさらに圧迫し、福祉や教育の切捨てる原因ともなってきました。

ムダづかいストップ 暮らしと自然を守ります

日本共産党

こんなムダづかいをやめれば、高すぎる国保料や介護保険料の負担を減らし、子どもの医療費を無料にするなど、福祉や医療、教育を充実することは十分可能です。日本共産党は、みなさんと、暮らしと自然を守ってがんばります。

いっせい候補写真

いっせい候補名前・政治肩書き

いっせい候補写真

いっせい候補名前・政治肩書き



前参議院議員
党府委員会政策委員長

宮本たけし



元参議院議員
党府委員会副委員長

山下よしき

日本共産党 委員会の見解を紹介します

民報題字

詳しくは<http://www.jcp-osaka.jp/>へアクセス